看護業務の効率化先進事例アワード2023　応募申込書　別紙

**■タイトル（プロジェクト名・活動名）**

|  |
| --- |
|  |

**■施設の基本情報**

|  |  |
| --- | --- |
| 施設種別 | □病院　　　　　　□診療所（□有床・□無床）　　□訪問看護ステーション　□介護老人福祉施設（特養）　　□介護老人保健施設（老健）□介護医療院　　　　　　　　　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 許可病床数／入所定員数等 | 床／人 | 主たる入院基本料（病院のみ） |  |
| 従業員数 | 人 | うち看護職員数 | 人 |

**■取組単位**

|  |
| --- |
| □施設単位　　　　　□部署単位 |

**■実施時期**

|  |
| --- |
| 年　　月　　　～　　　　年　　月 |

**■取組の背景（取組の導入を検討した理由）**

|  |
| --- |
| （例）入院のための帳票類が○枚以上あり、内容も重複しているため、看護師、患者・家族双方の負担となっていた。 |

**■取組の目的（取組を実施した結果としての目指す姿）**

|  |
| --- |
| （例）帳票類を整理し、情報の一元化と入院業務の効率化を図り、看護師は患者の直接ケアにあてる時間を増やす。 |

**■期待する効果（複数選択可）**

|  |
| --- |
| □①業務量の減少・削減　□②1つの業務に要する時間の短縮　□③有給休暇取得状況の改善□④時間外業務時間の削減　□⑤費用の削減　□⑥看護職の身体的負担の軽減□⑦看護職の精神的負担の軽減　□⑧その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**■現状の課題【解決を図りたいこと】（必要に応じて番号を追加してください）**

|  |
| --- |
| （例）①同じ内容を複数枚の帳票類に記載しているため、患者の負担が大きい。②入院に際して看護師の入力業務負担が大きい。① |

**■課題の解決方法（上記課題に対応するように記述してください）**

|  |
| --- |
| （例）①帳票の項目を整理し、帳票を統合して枚数を削減する。②電子カルテの自動展開機能を利用する。① |

**■目標（箇条書き）**

**（課題の番号ごとに目標を記載してください。可能な限り、数値目標の立案をお願いします）**

|  |
| --- |
| （例）①現状●枚存在する帳票類を1枚の情報シートに集約し、病棟看護師の入院時業務に要する時間を半減させる。②･･･ |

**■実施体制（参加メンバー、参加職種、参加人数等）及び活動内容の概要**

|  |
| --- |
| （例）【実施体制】病棟看護師長○人、病棟看護師主任○人、事務員○人、医療情報部職員○人【活動内容の概要】プロジェクトチームの立ち上げ、月1回ミーティングを実施 |

**■実施内容（時系列に記載し、必要に応じて欄を追加してください）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年月 | 実施内容 | 結果 |
| （例）●年●月 | 帳票類を看護記録に必要なもの・診療報酬に必要なもの・その他に分類し、重複して記載している項目を洗い出した。 | 重複して記載していた項目が○件あることが判明した。 |
|  |  |  |
|  |  |  |

**■費用の概算（必要に応じて欄を追加してください）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 項目 | 金額（単位：円） |
| 初期費用 |  |  |
|  |  |
| 運用費用 |  |  |
|  |  |
|  | 合計 |  |

**■資金源・費用の獲得方法**

|  |
| --- |
|  |

**■成果※**

1. 下記の8項目のうち取組によって得られた成果を選択し（複数選択可）、その取組によって得られた成果の度合いを「-1～3」から1つ選択してください。

※本事業における成果の定義は「看護業務の効率化によって得られたアウトプット」とします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  | 成果の度合い |
|  |  | 悪化した | 取組前と変わらない | 少し良い | 良い | 大変良い |
| □ | ①業務量の減少・削減 | -1 | 0 | 1 | 2 | 3 |
| □ | ②1つの業務に要する時間の短縮 | -1 | 0 | 1 | 2 | 3 |
| □ | ③有給休暇取得状況の改善 | -1 | 0 | 1 | 2 | 3 |
| □ | ④時間外業務時間の削減 | -1 | 0 | 1 | 2 | 3 |
| □ | ⑤費用の削減 | -1 | 0 | 1 | 2 | 3 |
| □ | ⑥看護職の身体的負担の軽減 | -1 | 0 | 1 | 2 | 3 |
| □ | ⑦看護職の精神的負担の軽減 | -1 | 0 | 1 | 2 | 3 |
| □ | ⑧その他（　　　　　　　　　） | -1 | 0 | 1 | 2 | 3 |

1. （1）にて得られた成果について、取組前後の変化及びその評価方法を記入してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 取組前 | 取組後 | 評価方法 |
| 例：② | ○○～○○時間 | ○○～○○時間 | ○人の看護師の○○の業務について○○の指標を用いて測定 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

**■もたらされた効果※**

下記の10項目のうち取組の実施によってもたらされた効果を選択し（複数選択可）、取組前後の変化及びその評価方法を記入してください。

※本事業におけるもたらされた効果の定義は、「看護業務の効率化の成果によって得られたアウトカム」とします。

①今までよりさらに患者・利用者の快適さと安楽を生み出すことに貢献できた

②今までよりさらに患者・利用者の願いをきき出し、実現することに貢献できた

③今までよりさらに患者・利用者の困難な状況を引き受け応答できた

④今までよりさらに患者・利用者が疾患・状況に向かっていくためのエンパワーメントに貢献できた

⑤今までよりさらに患者・利用者の満足度が向上した

⑥看護職の人員配置が最適化できた

⑦チーム連携が向上した

⑧看護職の満足度が向上した

⑨他職種の満足度が向上した

⑩その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 取組前 | 取組後 | 評価方法 |
| 例：① | ○月○日時点の状況は○○が○○であった | ○月○日には○○が○○に向上した | ○○について、○人の患者に○○の指標を用いて○○の方法で○○を測定 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

**■普及のしやすさ**

以下の①～⑥のうち、貴施設の取組にあてはまるものを選択してください（複数選択可）。

|  |  |
| --- | --- |
| □ | ①取組方法が理解しやすい（分かりやすい） |
| □ | ②運用がしやすい |
| □ | ③習熟のためのトレーニングがしやすい |
| □ | ④費用がかからない |
| □ | ⑤自施設において効果の検証がしやすい |
| □ | ⑥その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**■今後の展望**

|  |
| --- |
|  |